

日本鉄鋼協会東北支部  
昭和49年度湯川記念講演会

第1回

日時：昭和49年10月18日(金) 14:00~16:00  
場所：東北大学工学部金属系第2講義室  
講師：新日本製鉄(株)取締役生産管理部長  
石原重利君  
題目：製鋼技術の進展を願つて

第2回

日時：昭和49年11月12日(火) 14:00~16:00  
場所：東北大学工学部金属系第2講義室  
講師：東京大学工学部教授  
荒木透君  
題目：鋼の強化組織と靱性・延性

日本鉄鋼協会九州支部  
第8回湯川記念講演会

日時 昭和49年11月12日(火) 13:00~16:10  
場所 鉄鋼ビル大会議室  
一新日鉄大分製鉄所管理センター前  
(大分市大字西の洲1:大分駅下車 車20分)

プログラム

1. 鉄鉱石還元反応工学 13:00~14:30  
久留米工業短期大学教授 沢村 企好君
2. 日本のエネルギー資源問題 14:40~16:10  
東海大学工学部教授 黒沢 俊一君

第34回講演討論会開催案内

「金属の腐食防食に関するシンポジウム」

日本鉄鋼協会九州支部、日本金属学会九州支部、  
金属表面技術協会九州支部、西日本腐食防食研究  
会共催

日時 昭和49年12月6日(金) 9:30~17:00  
場所 長崎大学工学部特A講義室(長崎市文教町)  
市電またはバス長崎大学前下車(長崎駅より25  
分) タクシー(長崎駅より15分)

講演

- 9:40 繰り返し応力下での材料の腐食  
三重工長崎研 植田 健二
- 10:35 排煙脱硫装置におけるステンレス鋼の腐食  
新日鉄八幡技研 安保 秀雄
- 11:30 腐食疲れの機構  
東北大金研 下平 三郎
- 昼 食
- 13:30 綜爆溶射  
日本タングステン(株)研究室 伊藤 晋
- 14:30 三菱重工長崎造船所香焼工場見学  
(長崎駅解散)

注 講演：1講演につき講演45分、討論10分

見学：希望者は勤務先・職名・住所・氏名を10月  
31日まで下記あて連絡下さい。  
定員 50名にて締切り。

連絡先：日本鉄鋼協会九州支部

(〒805 北九州市八幡東区枝光1-1

新日鉄八幡技研内)

TEL (093) 671-0311(内532) 藤崎

宿舎案内 宿泊される方は各自直接お申込み願います。

パールビジネスホテル	大黒町4		
(0958) 21-3500	朝食付	S 2400	T 4800
オリエンタルホテル	出来大工町5		
(0958) 22-3171	〃	S 2420	T 5280
パークサイドホテル	平和町14		
(0958) 45-3191	〃	S 2800	T 5500
プラザホテル	元船町4		
(0958) 24-5151	朝食付	S 2640	T 4880
ホテル元船	元船町5-4		
(0958) 21-2400	〃	S 2500	
ビジネスホテルニューポート	元船町5-16		
(0958) 21-0221	〃	S 2600	T 5200

第11回金属関係学協会東北支部連合

シンポジウム

[金属学会、鋳物協会、溶接協会、軽金属学会、  
鋳業会、鉄鋼協会 共催]

日時：1974年12月10日(火) 13:00~17:30

場所：仙台市荒巻字青葉

東北大学工学部金属系大講義室

主題：“金属中の微量不純物”

プログラム

1. 挨拶にかえて (20分) 東北大金研 音谷 登平
2. 鉄鉱石中の不純物について (40分)  
東北大工 早川 豊久
3. 鋼の凝固過程における偏析 (40分)  
日本鋼管 宮下 芳雄
4. 粒界破壊と不純物—オージェ分析による  
研究 (40分) 新日鉄基研 鈴木 洋夫
5. 微量元素の機器分析 (40分)  
東北大金研 広川吉之助
6. 総合討論

連絡先：仙台市片平 2-1-1 東北大金研音谷研究室内  
日本金属学会東北支部

環境強度の基礎と試験法ならびに  
事故防止対策に関する講習会

主催 日本材料学会, 日本材料学会関西支部  
協賛 日本鉄鋼協会, ほか

期 日 昭和49年11月18日(月)~19日(火)  
会 場 大阪科学技術センター 4階 401室  
参加費 会員 15,000円, 学生会員 7,500円  
非会員 22,000円 (テキスト1部を含む)  
定 員 120名, 申込締切日 11月4日(日)

申込方法: 申込書に記入の上, 参加費を添えて(現金書留を利用)お申込み下さい。

申 込 先: 〒550 大阪市西区靱1丁目118  
(大阪科学技術センター6階)  
日本材料学会関西支部 Tel. (06) 441-5531

第1日 11月18日(月)

9:20 応力腐食割れと遅れ破壊の基礎と動向  
住金中研 小若 正倫

10:50 環境疲労の基礎と動向  
京大工 駒井謙治郎

13:00 環境強度試験法の実際と留意点  
電気化学測定 京都大学工学部 山川 宏二

14:30 環境脆化試験法  
新日本製鉄基礎研究所 岡田 秀弥

16:00 破面解析 大阪大学基礎工学部 小寺沢良一

第2日 11月19日(火)

環境に基づく破壊事故例とその対策

9:20 高温, 高圧下の機械, 構造物における  
破壊事故とその対策  
三菱重工神戸研 砂本 大造

10:50 圧力容器における破壊事故とその対策  
横浜国大工 小倉 信和

13:00 化学機械における破壊事故とその対策  
横浜国立大工 下田 秀夫

14:30 溶接構造物における破壊事故とその対策  
阪大溶接研 渡辺 正紀

16:00 船用機関における破壊事故とその対策  
三井造船玉野研 長尾 幸男

第25回塑性加工連合講演会

日 時 昭和49年11月13日(水)~15日(金)  
9:30~17:00

場 所 横浜市開港記念会館  
(横浜市中区本町1丁目6 電 045-201-0708)

講演プログラム

所屬学協会あるいは塑性加工学会へ問い合わせ下さい。

その他の行事

1. 懇親会

日時: 11月13日(水) 16:30~18:00

会場: 開港記念会館1号室(第二会場)

会費: 1,000円

2. 見学会: (交渉中につき詳細は後日になります)

日 時: 11月16日(土)

会 費: 1,500円(バス代, 昼食代)

定 員: 50名(但し講演会へ参加登録せず見学会  
だけへの参加はお断りします)

申込種別	登録料	論文集代	送 料	合 計
Ⓐ 参加予約者	1,000円 (学生 500円)	2,500円	不要	3,500円 (学生 3,000円)
Ⓑ 購入予約者	不要	2,500円	200円	2,700円
Ⓒ 期限後参加者	1,000円 (学生 500円)	2,800円	不要	3,800円 (学生 3,300円)
Ⓓ 期限後購入者	不要	2,800円	200円	3,000円

Ⓔ 懇親会参加者 1,000円

Ⓕ 見学会参加者 1,500円

申込方法: B5判(会誌半裁)の円紙を1人1葉で横長に使用, "第25回塑加連参加・購入予約申込み"と題記し, (1)申込種別(表のⒶ~Ⓕ別), (2)送金額, (3)通信先(郵便番号, 部課名, 電話等詳細に), (4)所屬学協会名, 資格, (5)氏名を明記し代金を添えて下記幹事学会へご送金下さい。

申込期限: 昭和49年10月19日(土)

申 込 先: 〒106 港区六本木 5-2-5(トリカツビル)  
日本塑性加工学会 電話 (03) 402-0849

## 第29・30回西山記念技術講座開催のお知らせ

— テーマ：薄鋼板製造技術の最近の進歩 —

主催 日本鉄鋼協会

第29・30回西山記念技術講座を下記により開催いたしますので、多数ご来聴下さるようご案内いたします。

### I 第29回（東京）

- 1) 期日 昭和49年11月27日(水)、28日(木)
- 2) 会場 経団連会館 10階 1001号 (千代田区大手町1-9-4 TEL 03-279-1411)

### II 第30回（大阪）

- 1) 期日 昭和49年12月10日(火)、11日(水)
- 2) 会場 日本生命中之島研修所講堂 (大阪市北区常安町29, TEL 06-443-3131)

### III 演題ならびに講師

第1日	9:30~12:00	薄鋼板の用途と品質	川崎製鉄(株)	三輪親光
	13:00~15:00	最近の薄鋼板製造技術における研究成果	東京大学	木原諄二
	15:00~17:00	熱延鋼板製造技術の最近の進歩*	住友金属工業(株)	岡本豊彦*
第2日	9:30~11:00	冷延鋼板圧延技術の最近の進歩	日本鋼管(株)	有村透弘
	11:00~12:30	冷延鋼板の焼鈍法に関する最近の進歩	新日本製鉄(株)	武智卓雄
	13:30~16:00	表面処理鋼板製造技術の最近の進歩*	東洋鋼板(株)	安藤卓雄*

(\* 印 東京会場では岡本講師は 第2日(28日)に、安藤講師は 第1日(27日)に変更いたします)

### IV 講演内容

#### 1. 薄鋼板の用途と品質 三輪親光

わが国の薄鋼板は品質のよいものを大量に安価に生産するための不断の努力により、その生産量は現在では約3000万tに達し、鋼材生産量の約1/3を占めている。

ここでは、薄鋼板の規格、自動車・電気機械器具・容器などの用途により要求される品質、その市場およびそれらの要求を満たすための、熱延および冷延薄板・表面処理鋼板の製造法とその発達について、普通鋼を中心に述べてみたい。

#### 2. 最近の薄鋼板製造技術における研究成果 木原諄二

通常の熱延帯鋼または冷延帯鋼が生産されている工程のうち、分塊圧延あるいは熱間粗延以降の工程に関するシステム工学的研究の紹介、熱間圧延における変形抵抗と圧延理論に関する研究成果、冷間圧延における変形抵抗と圧延理論に関する研究成果、スキンプラス圧延あるいはDCR圧延に関する研究成果、コントロールローリングと優れた熱延高張力鋼の生産技術に関する研究成果、高成形性材料の生産技術に関する研究の紹介

#### 3. 熱延鋼板製造技術の最近の進歩 岡本豊彦

最初に、ホットストリップミル設備全般の現状での概要につき述べると共に、次に圧延能力、圧延技術の向上を目指して今後更に改良が予想される設備関係について、その基礎的、理論的背景と今後の動向につき考察する。

また、近年めざましい進歩を遂げたミルの自動化技術のうち、主として自動板厚制御(AGC)と計算機制御(Computer Control)並びにスプレー冷却設備および制御方法についての現状並びに将来進むべき方向について説明する。

#### 4. 冷延鋼板圧延技術の最近の進歩 有村透

薄鋼板の冷間圧延法の進歩について設備、操業、研究開発の展望を示す。特に圧延の高速化に伴う圧延油の改良、自動化においてはAGCなどの制御システム、計算制御、二回圧延法などの新しい設備について国内外の圧延法の動向を示す。

また形状制御などの将来技術の動向についてもふれ、高速化、自動化、大型化、高精度化などの将来方向を推測する。

## 5. 冷延鋼板の焼鈍に関する最近の進歩 武 智 弘

OCA 以来冷延鋼板焼鈍法への関心は、生産効率が高く省力化された設備で加工性に秀れたプレス用鋼板を製造することに集中している。

ここ3年来、日本では世界にさきがけて連続焼鈍処理設備が稼動し、また UAD が操業を始めている。

これら代表的な設備の特徴とこれらによつて得られる鋼板の材質について解説を行なう。

## 6. 表面処理鋼板製造技術の最近の進歩 安 藤 卓 雄

表面処理鋼板の製造技術は、多岐にわたる用途面からの特性要求に応ずるため、いちじるしい発達をとげ、その生産も増加を続けている。本講においては、燐酸塩処理鋼板、熔融亜鉛めつき鋼板、電気亜鉛めつき鋼板、プレペイント鋼板、塩ビ鋼板、アルミニウムめつき鋼板、ぶりきとチン・フリースチールその他につき、その概況と用途開発を述べる。

V 聴講無料 (事前の申込は必要ありません)

VI テキスト 2500 円

VII 問合せ先 日本鉄鋼協会編集課 千代田区大手町 1-9-4 TEL 03-279-6021

### 日本学術会議会員候補者推薦について

来る 11 月 25 日 (投票締切) に行なわれる日本学術会議第 10 期会員選挙の会員候補者として本会は理事会の議を経て下記の方々を推薦することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 全国区第 5 部 (金属工学) 推薦候補者

住友金属工業株式会社専務取締役中央技術研究所長	池 島 俊 雄 君
新日本製鉄株式会社取締役八幡製鉄所副所長	加 藤 健 君
東京大学工学部教授	五 弓 勇 雄 君
東北大学工学部教授	小 林 卓 郎 君

#### 地方区第 5 部推薦候補者

中国・四国地方区 広島大学工学部教授	丸 山 益 輝 君
--------------------	-----------